



平成23年8月5日

各 位

上場会社名 第一屋製パン株式会社
 代表者 代表取締役社長 細貝 理栄
 (コード番号 2215)
 問合せ先責任者 取締役コーポレート本部長兼経理部長 福井 孝之
 (TEL 042-344-7601)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	△330	△300	△420	△6.07
今回修正予想(B)	13,580	30	90	100	1.44
増減額(B-A)	80	360	390	520	
増減率(%)	0.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	13,918	△554	△504	△566	△8.56

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,500	△230	△140	△350	△5.05
今回修正予想(B)	27,500	△230	△140	△350	△5.05
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	27,119	△1,158	△1,071	△972	△14.36

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、消費意欲が低迷しているなか、一段の店頭での価格競争を余儀なくされましたが、TPS(Toyota Production System:トヨタ生産方式)を中心とした生産性の向上に努めたこと、また、粗利益優先の営業方針の徹底のもと値引率・原価率の管理強化に努めたこと、さらに連結子会社の業績が大幅に改善した結果、さる平成23年2月10日に公表した予想額を売上高、利益共に上方に修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、小麦粉等の原材料価格の高騰により収益が圧迫される等、収益環境は未だ厳しい状況が続くと予想されるほか、新たに工場設備の改修等による費用発生が下期に見込まれるなど、通期での営業損益見込は未だに厳しいため、平成23年2月10日に公表した通期業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以上